第９回　恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
環境整備・ＰＴＡ・コミスク部会　（会議録）

会議の名称	第９回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会環境整備・ＰＴＡ・コミスク部会
開催日時	令和６年３月７日（木）　午後７時から
開催場所	上矢作コミュニティセンター　講堂
議題	（１）「スクールバスの運行に関すること」について ・前回の部会の意見を踏まえたスクールバスの運行計画(案)の協議 （２）「部活動に関すること」について ・部活動のあり方についての統合中学校への提言（とりまとめ）
公開非公開の別	公開
出席者	委員 若森　慶隆 安藤　常雄 三宅　勝彦 太田　礼子 鈴木　則彦 安藤　真由美 川上　容子 後藤　純一 平林　将人 片桐　慎一 細江　幸次 後藤　理恵 松村　友美 山田　宗則 中田　憲 非　公　表 大石　佐緒理 佐藤　美保 教育委員会 丸山　頼彦 長谷川　椋 小栗　　研 横田　洋平 市川　寛子 市川　太一
会議の内容	会議録のとおり
傍聴者の数	３名

事務局　皆様お集まりいただきまして、ありがとうございます。定刻になりましたので、これから始めさせていただきたいと思います。
今日はお手元に資料を用意させていただきました。また後程ご説明はさせていただきます。よろしくお願いいたします。
では、レジュメに沿いまして進めさせていただきたいと思います。
初めに、部会長様からご挨拶のほう、よろしくお願いいたします。

部会長　改めまして、こんばんは。寒い中、お集まりをいただきまして、ありがとうございます。年度末で３月ということで、よく昔から２月は逃げる３月は去ると言って、時の流れが早いということを言っております。それも実はいろんなことをやってる中で「惜陰」という言葉を知りましたというか、見つけました。「惜しむ」ですね、それから「陰」は山陰地方の「陰」ですね。時間の流れを大事にしなさいよということですけれども。
この部会も、たしか昨年の５月末に第１回が始まりまして、今回で９回目ということですが、これまで多くの議論を重ねていただいて、一歩ずつですが、前のほうへ進んでこられたというか、行ってるような気がしておりますし、そういうふうに確信を皆さんもされているのではないのかなということを思っております。今日も活発な議論をお願いできればなということで思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。
以上です。

事務局　ありがとうございます。それでは、今日の議事のほうに入っていきたいと思います。議事進行を、部会長様、よろしくお願いいたします。

部会長　それでは、レジュメにありますように、協議事項の１番のほうですが、前回のスクールバスの運行計画のことに関してですが、事務局のほうからお願いをいたします。

事務局　では、よろしくお願いいたします。前回、ルート図を基に皆さんで確認をさせていただきました。そこでグループ討議をしていただいた後に、いろんなご意見が出たところを取りまとめて、また今回お持ちしますねというところで、意見を踏まえ、また戻りまして、いろいろ調整はさせていただきました。その結果として、今回ご提示させていただいております。
簡単に説明をさせていただいた後に、またグループごとで詳細なご説明もしながら意見交換をしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
まず、横長のバスの運行計画概要書をご覧ください。大きく変わった点をご説明します。前回、合計のバスの台数が１４台でありました。今回、これ、１６台、２つ増やさせていただきました。どこかと言いますと、岩村と明智が１台ずつ増えております。効率的に、しかも時間を見ながら、乗車人数のことも考えて、大型バスを取りやめて中型以下の車でというふうに変更するとともに、少しルートを見直しました。そして、できるだけ分散できるようにということと時間も考慮した結果ということで、２台増えているという状況になります。
岩村で言いますと、一番奥から大きくいろんな箇所に寄って人を乗車させてくるというルートがございました。そこが見直されているところになります。

明智で言いますと、振興事務所とか、駅。ここを出発する車両に乗る人数を少し調整しまして、ここで２便増やしたという形になっております。主には、そこが大きな変更点です。
あと、それぞれの地区で出た意見、ここの停車じゃなくて、こっちまで回ったほうがいいよとか、１便でも同じ便で２往復する形が、例えば山岡のことですけれども、というところをいろいろ見直した結果、前回一番最長の区間で、上矢作の３号車の４３分ですといったのが４５分。２分ほど増えましたけども、その辺が時間としては少し変わっているところでありますし、全体的にも少し時間のところを見直しておりますので、変更があったかと思いますので、また個別に班ごとで説明させていただきたいと思います。主にルートのことは、このような形で変わってきたよということ。
それと、もう一枚の両面刷りの「スクールバス運行に関する考え方・まとめ」というものをご用意させていただきました。これは何かといいますと、前回もいろんな班から、この場合はどういうふうに考えてるのとか、いろんなご意見を出たものを少し意見ごとに集約して、こういうことはこういう考え方でバス運行してますよというものを分かりやすく表にまとめさせていただきました。
また個別には班ごとに説明しますけど、表面の１のバスの運行で、全部で９項目ございます。例えば１番目、土日や夏休みとかの、そういう休みの期間は運行ってどうなるのと、バス運行どうなるのということでしたけども、ここはやはりお休みの日は運行しない。ただし、学校の行事があるということで、学校に来なきゃならないというときは、もちろん運行はします。
これはどういうことかというと、今までもよその地区でもスクールバス、こういう運行はしてます。これはこういう形で行きますよという、そういう考え方としてまとめた、こういう見方をする表になっています。
あと、例えば６番、下校するとき、生徒の都合によって別のルートのバスに乗るとか、ほかの振興事務所に立ち寄るということができるのという場合は、やはり登校と下校は、同じバスと同じルートでの乗車になります。これはなぜかというと、行き先によって、そのルートやバスの乗車人数が決まっとるので、ここ行きたいからといって、ワゴン車に乗ろうと思ったら２０人になってしまいました、そんなわけにはいかないので、やはり行きと帰りは同じルートですよということになります。
例えばあと、裏面の２番、バス停と乗降方法、例えばこの１番目ですと、やはり６００メートルを基準にしてバス停の位置を決めて、ここで乗りましょうよというふうに前回示したんですけれども、同じルートであるならば、６００メートルじゃなくても１キロでもいいから、違う、もう一歩手前とか、もう一歩後ろのバス停に行くことが可能ですかというような質問というか確認もあったんですけど、これは同じ、定めたルート上であれば、人数の変更はないので、そこは６００メートルにこだわらず、例えば私は１キロ歩いてでもいいよとかという人もおられると思います。友達の関係で、一緒にここから乗りたいよという人もおるかと思います。だからそこは認めましょうよというふうに考えて

ます。
あと３番目の車内環境、Ｗｉ－Ｆｉとか、バスが今ここ来てるので、アプリとかＩＣＴの関係で何かできないのかなというのがありました。これはそういうのは全部つけていこうということで考えてます。
あと最後４番目の通学環境。いわゆる夜になって暗くなって、街路灯が欲しいよねといったご意見も聞いております。ここは地域の方々ともいろいろご相談しなあかんので、それを踏まえてどこにどういうものが必要なのかというのも、一緒になって協議していきたいと考えておりますので、こんなふうな形で、意見を取りまとめたものをご用意させていただきましたので、またお目通しをしていただければありがたいかなと思います。
ということを踏まえて最初に出したスクールバスの基本的な運行計画方針というのを前回示しております。これはそれぞれのお手元にもあるかと思います。今回修正したことによって、ここにアンダーラインのところが少し変わってますよというのが３番目、「大型バス」と書いたのはなくしましたから、「中型、マイクロ、ワゴン」というふうになってますし、５番目、「６００メートル」としてたのを「６００メートルを目安に」と、これは希望によれば１キロでも歩けるよという人がおればということを踏まえて、そういう表現にさせていただいております。
このようなことと、あともう一点は、最終的に学校のどこで降りるのというのがあったかと思います。前のとき、一度、バスの協議をする前のときに、一度示した案が、山岡中学校を上がっていく途中のＢ＆Ｇのグラウンドの右側のところに駐車場があって、ちょっとしたこんもりした山があるところ、あそこを広げてバス停にしましょうかというご提案も、図面を示して、たしかお話しさせていただいたかと思います。今考えてるのは、やはりあそこしか、こういう車両が来て、転回してうまく乗り降りできるというのは、学校の今の地形からすると、あそこがベストかなという、事務局サイドでは思っています。そこを想定して乗降場所ということを今考えてますので、そこから少し学校までは上りですけれども、数分歩いていただくという形を考えてます。
という全体のお話をさせていただきました。この後、それぞれ地区ごとの、ここは前と変わりましたよという説明をしながら、また最終的にご意見を頂きたいなと思っています。グループごとで、見ていただいた後に、そのグループでまた、どんな意見が出たのというのをグループ発表させていただきながら、その意見を基に、最終的にこのルート案というものを判断していきたいなと思っております。
以上、全体の説明をさせていただきました。これから班ごとに話していただいてよろしいですか。

事務局　はい。

事務局　では、それぞれの地域ごとに説明をさせていただきながら意見を伺いたいと思いますので、これより担当の者がそれぞれテーブルに入ります。そこでまた話合いをさせていただければと思います。では、これからそのようにさせていた

だきます。よろしくお願いします。

スクールバスの運行計画に関することについて～グループ討議～

事務局　では、よろしいでしょうかね。それぞれで確認させていただいたかと思いますけれども、ここで皆さんのほうから、少し地域ごとのご意見等を発表いただくという場を設けたいと思います。
では、順番、今日はこちらから行かせてもらおうかな。上矢作のテーブルのほうから、順番によろしくお願いいたします。

上矢作地区発表者

お疲れ様です。上矢作からの意見として、前回、ほぼ聞きたいことやなんかは出尽くしたというか、大分考慮してもらえるということであったので、一応確認があったのが、細かくバス停、またルートでしたか、そういうところに防犯灯をつけてほしいという話がありました。それはその地域とだったりですとか、今まで、令和５年度中に、以前その各自治区と市との話で防犯灯、ＬＥＤ化するというやつが終わったということなんですけど、それ以降で必要なところはお願いをしてつけてもらいたいという話と、あと各バス停の防犯カメラの設置をしてほしいというのがありました。
それからルートの件で、前回あった、上矢作ですと、木の実と大馬渡の件のほうは対応していただけるということと、もう一点細い地区、増沢地区というところなんですけど、そこまで大型車両でないので回ってもらえればありがたいなと。ただ、その代わり、数分なのか時間がかかるということなんですけれども、そこは実際利用される方と相談をしてもらって、それぐらいの時間の負担というか、よりも来てもらえたほうがありがたいというふうなら、それはそれでやってもらえればいいんじゃないかという話です。
ただ、これが増沢だけじゃないんですけども、ほかの地区でもそういうことがあれば、５０分だとかという時間だけで縛られるんじゃなくて、安全面ですとか、そういったことを協議してもらって決めていけばいいんじゃないのかなという意見です。
以上です。

事務局　はい。ありがとうございます。そうですね、そこはもう時間との絡みがあったけれども、例えばそこの保護者、生徒さんたちがそれでもいいということならばという、そういう話ですもんね。

上矢作地区発表者

そうですね、前回もあった道が細いとか、今までそういうところで怖い思いをしたとかいうことがあったんですけども、じゃあその道を全部広くするというか、するよりも、大型なら通れないんですけど、マイクロなら普段、病院のバスとか、そういうのが通ってるところなので、そうしてもらったほうがいいんじゃないかという意見もあるもんですから、そこは柔軟に対応してもらえばいいのかなと思います。

事務局　ありがとうございます。では、テーブルのこの順番に行きますので、串原地区で。

串原地区発表者

串原地区です。保護者の方に集まっていただいて、いろいろ説明をする機会を設けて、ご意見をいただいてきました。それで、ここにもバス停、やっぱりつくってほしいとか、今ある既存のバス停、ここに止まってほしいという意見があったので、それを幾つかお願いいたしました。

保護者の方からの意見ですごく多かったのは、やっぱり通学に関する不安です。何せ遠いです。なので、本当に不安が尽きないという意見が多く出ました。やっぱり車酔いのこととか、体調不良のこととか。やっぱり親と子どもが連絡取れる手段、何かないかなという心配してる方、そういう意見がありました。タブレット、１人１台、多分中学生の方、配られると思うんですが、これで何か親とやり取りできないか、メッセージの送信とか、連絡取れないかなと。もしくはスマホの使用を許可してほしいという意見もありました。

何せ遠くて本当に困っています。なので、本当に最短でお願いしたいです。よろしくお願いします。

事務局　はい、分かりました。ありがとうございます。では、明智地区、よろしいですかね。

明智地区発表者

はい。明智もルートのほうは少し意見を言わせていただいて、明智でも少しでも時間が短くなるようにしたいなと思いましたので、意見を言わせてもらいました。

あと、ほかのことに関してなんですが、事前ルートの僕ら、今、子どもが関係しとる方も多いと思いますけれど、やはりその人その人で、要望等あるかもしれませんので、事前にルートの説明とかをしていただいて、確認を取れる機会を取ってほしいというのと、あと１年目は特にですけど、１か月、２か月、ないしは１学期やってみたぐらいのときにアンケートみたいなことを取って、要望を聞き入れてまた再調整を。要望があったら教えてくださいだと言えない人とか、ある可能性もあるので、学校のほうからアンケートを取っていただくというのがいいんじゃないかなと思いました。

あと今、僕の娘が山岡の体育館でバスケットボールをやってるので、何回も迎えに行ったりしているので思ったことがあって、今、山岡のＢ＆Ｇのグラウンドの手前の入り口から学校までの間ですけど、間にある駐車場に街灯が１本立ってるだけで、道路上には１本も立ってないので、あそこ夜通ってすごく暗いんですね。ヘッドライトだけなんで、歩行者とかは見にくいです。なので、そこの街灯の整備も合わせてやってもらえるとありがたいなと思います。ということが補足なのと、それから全然見えないところもあるので、そこはしてもらいたいなと思います。

以上です。

事務局　ありがとうございます。それでは、山岡地区から。

山岡地区発表者

山岡としては、２便にしてもらったことで、特に問題はないかなというふうに思いました。ルートとは違うんですけど、ちょっと聞きたいなと思うことはあるので聞いてもよろしいですか。バスに関することなんですけど、まず緑ナンバーなのか白ナンバーで考えているかというのと、今回、台数を１４台から１６台に増やされたことは、最低２人というわけじゃなくて、人数がさらに増えると思うんです、ドライバーさんが。その確保をどれぐらい考えているのかというのを、少し今、分かる範囲でいいので教えてもらえればありがたいなと思ったので、お願いします。

事務局　はい。そうですね、今、バスを緑ナンバー、いわゆる営業で運転するのかな、あとは白、貸し切りのような形で運転するのかなというところですよね。これ台数も、今、１６台というふうになりました。市内関係するバス事業者さんとも聞き取りを、もちろん今やってはおります。恐らく大体聞いていると、１社で全部というのは無理だよねというのは何となくもう分かってきてます。何社かで分散するという方法が理想かなというような話も今聞きつつあるところです。そうなったときに、白なのか緑なのかというと、またこれも、それぞれバス事業者さんによって、私のところは緑でいけるとか、私のところだったら白じゃないとできないとか、いろいろ多分これ、業者さんによって違うんですよね。理想としては、緑で全部が行けるのが。今の基本的な市の考えとしてそのほうがいいのかなとは思ってるんですが、ただ、受けていただくバス事業者さんの現実も加味をしなきゃいけないので、まだ緑になるのか白になるのかというところまでは、最終決定には至っていないです。ここも詰めていかなきゃいけないところかなと思っています。

あと、いわゆる１６台ということは、最低１６でも１６人でさらに、倍とまでは言わないんですけれども、それ以上の人数が要るよというところです。今いる、もちろんバス事業者さんが運転手さんで抱えている人数ではもちろんできないので、それに応じて社員募集ということもやっていかないと、もちろん人は足りないよというのは、それは私らでも分かることです。なので、早くこれを決めて、こういうところでこれだけの人数が要るのでということを投げかけていけば、バス事業者全体としては、今言われてる意見としては、もう絶対確保していくというご意見は伺ってます。ただ、それをどのタイミングで早くできるかというところにかかるよねというようなお話までは聞いてます。ですので、今日ここで皆さんと話し合ったこのスクールバスの関係の大筋が決まれば、そこをもっともっと、今度はバス事業者さん側と詰めていくという段階に入るということを今、考えてますので。今の状況としては、そんなふうに進めているというところを、ご理解いただければありがたいかなと思っています。今ではここまでの答えですけど、よろしくお願いします。

それでは、あとはいいですかね。岩村地区から、よろしくお願いします。

岩村地区発表者

岩村地区は、まず最初にルートに関しては子どもの変動もあるので、とりあえ

ずそこまで何も、以前すごい長い距離が短くなったのもあったので、まあいいですけど。改めて自分の子どものルートを見たときに、漏れがあって、あれ？この子どこで乗るんだろうみたいなのが結構な人数いて、このとおり、果たしてこの令和８年のこのバス停の人数とこれが合ってるのかというところ、改めて先生が持ってらっしゃった子どもの家の関係を見たときに、本当に多く漏れがあって、多分この人数、すごく合ってないと思うんです、現実に。なので、ここで出たのは、やっぱり実際の地図を持った上で親御さんに、ここ家があるよというふうに教えてもらうのが一番だと思うんです。集計は大変なので、ここであったのが、ＰＴＡ総会、４月にある参観日とかに地図張り出して、ここにうちの家あるよというのを、何年生いるよというのを貼っていってもらって、そこからまた改めてきちんと、どこで誰が乗るのか。多分私が見てるルートでも、明らかに、あれ？令和９年もう１人いるはずだよなとか、あれ？ここのルート、２、３人足りてないぞってあるので、絶対にそれでちゃんと人数を直さないと、今のままじゃあ不安かなというところがあるので、もう一回改めて人の配置、ここに何人いるかを、岩村地区点在してるのと、引っ越したりとかで結構今も人が動いてるんです。なので、そういうのを細かにやっていかないと、予定してたよりも、あれ？人が多かったとか、あれ？もっと少なかったなんてなっちゃうといけないので、もっとまめにチェックをお願いします。

以上です。

事務局　はい、ありがとうございます。そうですね、確かに最終的には今言ったように、保護者に確認してもらうということ。これはいわゆるこのルート図、バス停の図を基に、今僕らが次の段階を思ってるのは、やはり保護者の方に確認をしてもらうという作業が次は要るというふうに考えてます。ただし、その前にも、例えば学校では、いわゆる子どもたちの、家がここで、学校来てるよというのは、基本的に把握はしとるわけですので、学校ないし、また保護者に聞くないしということで、漏れがないかという確認もしていかなあかんなというふうにも考えてますので、そこはやっていきたいというふうに考えてます。

では、今日ここで今、それぞれの地区のご意見を伺いました。実は全体では、それぞれのところで、少しここがというご意見もあるというのは、今、各班で担当者ついてるので、聞き取っているのかなと思いますし、根本的にルートについては、そういう微調整のところは今聞いた中でやらせていただくということはやっていきたいと思います。

このバスルートのことは、次はこういうふうに素案が固まりましたので、保護者に確認をという段階にしたいということにするには、ここで部会の皆さんとして、まずこの案で、これを部会の案としていこうというふうに確認をさせていただければ、次、保護者のほうにも話が行けるので、そういうようにしたいなと思いましたし、今日それぞれの地区のお話を聞いても、そこに関しては何となく、もうこれでいいよというお話を今聞かせていただきました。ですので、どうですかね、皆さん、これを、この部会のこの案という形で次、保護者へ向けての確認作業というふうに進めてもよろしいですか。

委員　　今日出させてもらった意見を反映させてもらったやつということで。

事務局　そうです、そうですね。多分串原も少し、ここが足りんよというのを言ってましたので、それを反映したやつでということですね。よろしいですかね。はい。では皆さん、これでよろしいとさせていただきましたので、次のステップに進んでいくということで、これを部会の案として、今、微調整するところはもちろんさせていただいて、案として次へ行かせていただきたいと思います。ありがとうございます。

じゃあ一旦これで、スクールバスの運行に関しては、ここまでで終わらせていただいて。

部会長　じゃあ次の２番目の、一昨日ぐらいに郵送で行ってたと思いますが、部活動の件についてもお願いします。

事務局　はい。じゃあ担当から、説明させていただきます。

事務局　よろしくお願いします。

本日、皆様のお手元に「部活動に関する提言（案）」というものが１枚配ってありますので、そちらをご覧ください。

併せて、数日前に送らせていただいたアンケートも、事前に見ていただいておろうかと思いますが、小学校４・５・６年生、そして中学校１・２・３年生からそれぞれ取ったものの集計です。今回、新しい部活動、こんなものが欲しいよというところで、フリーに書いてもらえるところも作ったんですけど、中にはふざけも入ってしまったようなアンケートもあって、こちらで取捨選択しながら、該当にないものは幾つかまとめさせてもらって、皆さんのところにお届けした次第です。

今日お配りした「部活動に関する提言（案）」について、まずご覧ください。

子どもたちの意見から、やっぱり部活動に対する期待が大きいなということを感じています。それは小学校４・５・６年生を見てみますと、部活動やりたいなというお子さんたちが８割を超えていました。そして中学生、１・２・３年生は、今の部活動に７４％の子どもたちが満足しているという結果もあったので、部活動はぜひ統合中学校には位置づけていきたいなということを考えています。

その中で、部活動設置については①から④で提言してはどうかということで、案を作成してあります。

まず１つ目、運動系に加えて文科系部活動を複数設置できるようにしてほしいということ。②番として、西中や東中学校と同規模になりますので、そこを参考にしながら部活動の数としては１２程度設置できないかということです。

山岡Ｂ＆Ｇがすぐ下にあるという立地条件もありますので、体育館が２つは使える。それからグラウンドも２か所は使えるということで、ある程度幅を持たせた部活動の設置が可能ではないかという提言です。

３つ目として、今回アンケートを取りましたし、それから地域の特性からも部活動はどんな種目をしていくかというのは、それぞれ学校で決めていくことになるのですが、今回のアンケートで行くと、小中学校ともにバドミントン、バ

スケットボール、家庭などの人気が高かったです。今回のアンケートは複数の回答を可としていますので、これが第１希望で、私はこれに入りたいというふうに聞くと、またアンケートの結果も変わってこようかと思いますので、具体的な希望調査が必要ではありますが、そんな子どもたちの願いを基にしながら、部活動の設置、１２の部活動を決めていってはどうかという提言です。
そして４つ目として、現在、恵那市内の幾つかの学校で、任意加入にもなってきています。自分の可能性を広げるためにも、学校外での活動を充実させるために、部活動には加入しないという選択を、当然認めていってほしいという提言はどうだろうかということで、部活動設置について４つの提言を案として提示させていただきます。
続いて、活動日についてです。特に中学校のアンケートから否定的な意見として、部活動の日数、それから時間がかなり少ないというご意見がありました。現在、こちらで調べているところで行きますと、恵南の中学校は多くの学校が冬期はほとんど部活動ができてない状況です。当然、日没が早いですので、下校時刻を早く設定することが大きく影響してるんですが、そこを新しい中学校では、年間を通じて週１、２回程度の活動日を何とか確保できないだろうかということを提言していきたいと思っています。
②番も同じようなことになりますが、１回の活動時間は１単位時間、いわゆる学校の５０分間の授業の時間を確保してほしいということです。
米印として、放課後部活動という取り扱いではなく、授業時間に組み込むなどの工夫ができないかという提言です。中学校では委員会活動というものを行っています。それも多くの学校で放課後の時間に充てることになるのですが、そういった時間を何とかうまく組み込んでいく。それから市内の中学校でも掃除の時間や休み時間など、うまく削減する週の時間割を工夫しながら部活動の時間を生み出している学校もありますので、そういった学校を参考にしてもらいながら時間を生み出せないかという提言です。
授業時間の中に組み込んでもらうことで部活動に所属しない生徒が当然いますが、その子たちは自主学習などとしてバスの時間は統一していく。それから３年生が中体連を終えると引退をしますので、３年生が引退後は、３年生のみ授業、あるいは自習等の時間としてバスの時間を統一していく。
統合中学校になりますと、西中や東中のように、当然教員の数も増えます。そうなってくると、複数顧問という形が取れます。１２程度の部活動に複数の顧問がつくことになりますので、例えば３年生は授業をやっている。１・２年生は部活動をやっている、顧問をうまく、こう授業に入る先生と部活動につく先生というふうに分けていくことも可能ですので、その辺りを考えていただきたいという提言です。
その他として①番、５つの中学校で、当然令和７年度に１・２年生の子どもたちはそれぞれの５つの中学校でそこの学校での部活動をやっています。新しい中学校になったら１年生、２年生と２年間やってきた部活動がなくなってしまうということはやっぱり避けたいなということです。

２つ目として、一方で、せっかく新しい中学校になって、２年間、例えば陸上をやってきたんだけど、バトミントンができるならば、３年生になったらバドミントンに転部したいというお子さんもいらっしゃると思いますので、再度選択できるようにしてほしい、そんな提言を今回まとめてきました。また皆さんのご意見を聞きながらということを思っています。
前々回の会で皆さんに話し合っていただいたときは、園・小・中というブロックで、３つに分かれてお話をしていただきましたが、今回、それぞれの地域で今集まってくださっていますので、今のメンバーでこの提言を見ていただいて、またご意見を頂戴したいなということを思っています。
私からは以上です。

事務局　はい。では、またこのグループごとで、今のこの提言を少し見ながら、あとは担当もまたつきますので、ご意見を聞きながら最終的に確認していきたいというふうに思いますので、じゃあこれからグループごとで、お話をしていただきたいと思います。あまり時間は、今回ここでは取る必要ないかなと思いますので、また頃合いを見てお話をさせていただきたいと思います。

部活動に関することについて～グループ討議～

事務局　では、どうですかね。そろそろまとめられたお話をしていただく時間に移らせていただいてもよろしいですかね。
では、いいですかね。それでは、それぞれテーブルが今回４つになってますので、今度はこの、右側の岩村地区、山岡地区での話合いを少し、そちらから、では、順番にご意見を発表していただければありがたいかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

岩村・山岡地区発表者
はい。まとまり切れてないとこが。取りあえずカリキュラムに組み込んで、部活としては、週１回は確実にやっていきたいという話だったので、その辺はこの辺りでも話をしながら、帰りたい子がおったとしてもうまく、このカリキュラムというところになるので、みんな山岡の子も、帰りたい子も、とりあえず学校に残るというのは、納得はするかなという感じなんですけど。ただ、やっぱりクラブ化を今進めている中で、部活とクラブの既に起きてる、その子どもを含め、親も含めその軋轢と言うんですか、やっぱりクラブだと遠くに送迎しなくちゃいけないことが増えてくるだろうし、子どもはもっとやりたいけど、親が送迎が大変だから、もうちょっとこっちにしといてというふうに、やっぱり感じる人もいるでしょうし。頑張りたい子はクラブに入るけど、少しやりたいから部活でみたいな子は部活で終了みたいな感じで、やっぱり意欲とかやる気ももともとの差もある問題なので、ごめんなさい、正直、今ここで話しただけじゃあ分からないというのが、すごく私は。というか、難しい問題だなと思って。やっぱりその子どもだけに聞いたら、そらやりたい子はいっぱいいるので、尊重はどんどんしていかなきゃいけないんですけど、クラブと関わって保

護者主体になると、やっぱり保護者の意見ももうちょっと聞いたほうがいいかなというのは、今ここで話してもいろんな保護者の意見があったので、少し感じました。すみません、まだまとまってないので、こんなものです。すみません。

事務局　ありがとうございます。では、じゃあ明智の地区でお願いします。

明智地区発表者

まずは子どもたちがやりたい部活が今ない部活とかあったので、もしそういうのが、子どもたちがやりたいという部活があるのに、学校の都合や指導者がいないとか、そういう都合でできなくなってしまうのはかわいそうなので、善処していただいて、指導者を探してもらうということをして、なるべくその学校の都合等で子どもたちが部活ができないということがないようにしてもらいたいなというのと。

あと、一応任意の加入にというところを提言するものと、あと２・３年生が新しい部活へ変われるようにという話もあったのですが、部活を、どんな形でやるというのも僕はいいと思うので、随時変われるようなこと、変わってもいいよというようなことを、ルールじゃないけど、ちゃんと示してあげておくと、転部もしやすい。何か暗黙のルールで転部なんかできないよというのじゃなくて、ちゃんと示してあげるのも必要じゃないかなと思いました。

あと最初の合併当初では、それに２年生３年生は、多分ですけど、やはり継続的に、今まで入ってた部活をやる子が多い可能性があるので。そうすると、今度は新しくつくった部活に１年生が入るか入らないかで人数がすごい少ない部活になってしまうかもしれないですが、その後の子どもたちもそういう部活に入りたいという子もおると思うので、何年かは人数が最初は少ないかもしれんけど、継続をしていただいて、なるべく１年目で少ないんでなしにするということにならないような猶予を持っていただければと思いました。

あと、ここにはあれかもしれないですがもっと、アンケートの中に、「和太鼓」と書いてあったので、思いついたのが、地域の伝統の芸能をやってみえる地区が結構あると思うので、明智も歌舞伎だったり、太鼓保存会もありますし、多分、串原さんのところが和太鼓、学校でやってみえたりするので、もしそういうその太鼓とか、地域の伝統文化芸能をやるような部活があれば、そういう文化も継続していけるので、大会とかそういうのはないかもしれないですけど、地域のそういうような部活があれば、そういうのも地域に根づいた学校になるんじゃないかなと思いましたので。提言に入れるかどうかというと分からないですけど、そういう部活の検討もあるかなと思いました。

はい、以上です。

事務局　ありがとうございます。では串原地区からお願いします。

串原地区発表者

串原地域は、現在の串原の部活は卓球しかないというような状態なんで、子どもたちがどういう部活を選択したかとか、どういうアンケートの答え方したかというのは分からないんですけど、チームスポーツということができるので、

チームスポーツというと、人数が結局要るということになりますので、準備して、じゃあやろうかといったら、もう終わり、時間だよというのでだるいと思うので、その辺、部活動、授業の絡みもあるかと思うんですけど、部活ができる時間を確保していただけたらいいのかなという意見が出ました。

事務局　はい、ありがとうございます。では上矢作地域からお願いします。

上矢作地区発表者

はい。上矢作としては、いろんな要望というか、今、串原さんの意見もあったんですけど、合併したらいろんなことできるという期待してる意見も多いです。その中で要望等もあるんですけど、今、提言の中であった活動日についての１番、２番の、その辺の実務的なとこ、現実的なところが、実際問題では分からないんですけど、校長先生から意見をいただいたり、そういうのを考えると、ここで今こうしようとか、そういうことは決められないです、実際に。先ほどまでもあったコーチの、指導者のことですとか、そういった要望しか出せません。で、現実を考えると、難しいことばっかり出てきて、本当に、ここの部会ですら決められないじゃないかという、実際にはこの意見なので。特にまとまった意見は特には出てませんけど。なので、できるとしたら、本当に子どもからの要望を挙げることしかできないかなと思っております。

以上です。

事務局　ありがとうございます。では、まとめの話を。

事務局　それぞれご意見ありがとうございました。最後に上矢作地区から言っていただいた、確かに要望しかしていくことができないかなというところは、私どもも感じています。実際に今の５つの中学校にお勤めの先生方を中心に、本当に、それぞれの学校で今やっているところから、時間がどれだけ生み出せそうかとか、子どもたちの声を拾いながらどの部活がいいのかなんてことも、当然現場の先生方にお願いをしながら考えていっていただくところになろうかと思います。

それからご意見の中で、明智の方がおっしゃってくださっていましたが、和太鼓や歌舞伎など、岩村、山岡のところでも話題になりました、それぞれ今、総合的な学習の時間で地域を学んでいる子どもたちです。その総合的な学習の時間も当然年間にこの時間、何十時間と決まっている時間があるので、その中で何をするかということと、この学校の部活動に、例えば伝統芸能部みたいな形で立ち上げてやっていくというのも一つ可能性としてあろうかと思いますので、そういったご意見も頂戴しながら、学校への提言という形に持っていきたいなということを思っています。

私からは以上です。

事務局　今、担当から説明があったように、今日ここで今、皆さん、それぞれ出たことも、もう少し文章化を、改良を加えるということかな。今日皆さんの意見を聞くと、やっぱりこの場では、要望というか提案というか、そういうものだよねという認識というふうな感じを皆さん受け止められておるということが何となく聞いて分かってきました。この部会でできることは、ここでやっぱり決める

ということではなくて、こういう考え方、こういうアンケートも取った結果も踏まえて、こういうふうにやれば、子どもたちが部活動にチャレンジできるものができるので、ぜひこういう形に取り組んで、どこまでできるかは分からないんですけども、やってほしいですという形で、もう提言するというものかなと思いました。

ですので、今日ここに、今、案として書いたやつに、今日最後ここで出たご意見をもう少しプラスアルファしたものをまとめさせていただきたいなと思います。

これについては、最終的にまとめたものを、また皆さんにフィードバックさせてもらおうかなと思ってます。ここに紹介したもの、これにプラスアルファで今日の意見を聞いたものに改良させていただきたいなと思っています。そんな形で進めさせていただきたいと思いますが、よろしいですかね。

では、今日のご意見を少し反映させたものとして提言書をまとめさせていただくということで、それをまた、お手紙か何かでフィードバックさせていただきたいと思います。ありがとうございました。それでは。

部会長　はい、じゃあ、その他。

事務局　そうですね、ここは、はい。その他で、はい。

部会長　はい、じゃあ、その他ということで、はい。

事務局　すみません、じゃあその他を、４番のほうに少し入らせてもらっていいですかね。その他、今回特にその他で提案ございませんけども、４番の次回のって書いてあります。これで一通り、皆様方にいろいろ部活動のこと、スクールバスのこと、今日、まとめさせていただいたという結論が出ましたので、年度内、このちょうど年度の、皆さんも役員替わられる方もおられるかと思います。これが多分年度としては、今日が最後の会になるのかなと思っております。

この後、まだ新しい年度からもやらなあかんことは、今考えているのは、スクールバスの、もう少し、今度は事業者とお話しした後の展開のことを、また皆さんに報告していかなあかんなということと、もちろん保護者への確認をする手段をどうしようかなというのがありますし。以前、学校の建築のことも話させていただきました。最終的にどんなふうになってきたのというのも、皆さんにお伝えする機会も必要かなと思いますが、これは何となく、もう４月以降になるのかなと思ってます。ですので、次回の部会をいつやりましょうかというのは、今日はここでは決められないと思いますけれども、また改めて、この議題でこのタイミングならできるよということをお伝えさせていただきたいと思いますので、次回の部会については、また後程、改めて文書でお伝えするという形にさせていただきたいと思います。

それでは、事務局からの連絡は以上となります。部会長さん、すみません、ありがとうございました。

部会長　いえいえ。

委員　すみません、もしかすると、やはり役員、うちらも改選するのでメンバーも替わるかもしれないですけど、もし替わる場合は、いつぐらいまでにどうしたら

いいかという。

事務局　ありがとうございます。保護者会長さんでありますとかＰＴＡ会長さんには、手紙でご連絡を既にさせていただいておりますが、新しいＰＴＡ会長さんが決まるのが、恐らく４月末になるかなと思います。正式に決まるのがですね。ＰＴＡ総会を経て決まることになりますので。そのタイミングで、もう一回手紙をＰＴＡ会長さん宛てに出します。そのときに誰々が辞任という言い方をしますが、辞められて、誰々が代わりにメンバーとなりますという報告をＰＴＡ会長さんから頂くと、こういうふうにしておりますので、大体次の連絡をさせていただくのが、１回連絡はしておりますが、次の連絡は４月の中頃にご連絡させていただいて、５月の頭ぐらいには提出をしてくださいというようなお願いをさせていただくことになると思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員　去年というか、本年度と同じようなパターン。

事務局　そうです。同じパターンです、はい、そうです。

委員　で、次、未定と言われたんですけど、まず５月の終わりぐらいということですね。

事務局　第１回の、例の顔合わせ的な、今年もお願いします、今年はこんなこと考えてきますということがあるかなと思っておりますけど。

事務局　そうですね。ここの部会は議題の関係でまだ未定ですけども、全体の流れとしては、今、言ったように、昨年は最初に総会、新しいメンバーでの総会からスタートしましたので、メンバーが交代するということもありますので、ああいう場が、次にはあるのかなというふうに想定できます。新しいメンバーの報告を受けて、メンバーで替わられた人には、新しくまた替わられたということで委嘱をさせていただくという場が、総会かな。

事務局　はい、そうです。

事務局　そうやね。それが次には来るという状況になりますので。５月、次はね。

事務局　はい、末ぐらいになると思います。

事務局　５月中のどこかということになります。

委員　もしかすると、その前に、もう一回部会がある可能性は、４月とか。

事務局　うーん。

委員　あると、このメンバーでもう一回４月にあるかもしれない。

事務局　そうですね。正式な交代が、その今の５月の末にあるだろうと思われる総会になりますので、一旦は今の方にお手紙を送ることになるかなと思います。

事務局　こちらのほうで、次に向けて、どういうところがどのタイミングでというのがもしあったときには、その総会前であれば、今の人にご連絡するということになりますので。ただ、私はもう替わったけどという、いろんな人のご意見もあるので、なかなか難しいタイミングかなと思っておりますけど、あるならば、今のメンバーにご連絡するということになります。

事務局　そうですね。

委員　それをもらって、もう新しい人が決まったでって、総会になる前に新しい人が

来ちゃうと、まずいですか。

事務局　いえ、代理出席認めてますので、代理かなということ、はい、という形かなと思いますけどね。

事務局　そういう場合は、次この方やでというのがあるならば、そこの代理という形もやむを得んかなと思ってます。

事務局　はい、そうです。なぜなら正式じゃないですけど、代理という形ですけど、ご参加いただくことはいいかなと思ってますけど。はい。

事務局　そのほか、よろしいですかね。

部会長　よろしいでしょうか。それでは長い時間にわたってありがとうございました。

事務局　では、お疲れ様でした。ありがとうございました。

事務局　今日はありがとうございました。